

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光国際係
■評価事業名称	北上市物産開発推進協議会			
■事業開始年度	昭和56年度			
■評価事業コード	060100 - 051	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	市内で生産される特産品開発・地場産品の普及向上による、北上市＝〇〇と言える物産の確立と振興をはかる。北上の物産と手づくり展ほか各種物産展の開催や参加、研修会開催など協議会事業への参加(北上市商工会議所事務局)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	北上市物産開発推進協議会事務	物産開発推進協議会・会員32業者	総会:1回講演会ほか	総会:1回 物産展事業6回、プロジェクト・研修会等4回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	1				
人件費	75	153	77	76	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	76	153	77	76	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	物産展1回あたりコスト	7,600円	15,300円	7,700円	7600円	フルコスト÷物産展等、物産のPR・販路拡大の回数
02	物産展等、物産のPR・販路拡大の回数	10回	10回	10回	10回	各種物産展、商談会への参加回数
03	特産品の開発、販路拡大等のための研修会の開催	1回	1回	1回	2回	研修会①

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

04	研修会等参加者数		7人	24人	35人	研修会参加者数
----	----------	--	----	-----	-----	---------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

物産展の参加機会は安定して提供されている。県南広域振興局と連携し、「北上ガレット」が生まれたほか、市事業を活用し「きたかみ牛牛すじカレー」など販路拡大が進んでいる。

問題点・課題等

販路の確保と共に、飲食物以外のお土産の開発なども必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了